

くまもと経済

C 表紙の人
Cover Story

青柳 俊彦
九州旅客鉄道社長
駅ビル拠点に新たな“まちづくり”

5 2021
月号
VOL.479

「アミュプラザ」開業 駅周辺のにぎわい創出へ
九州新幹線10年 需要掘起しで県内プラス効果
「域外消費」「回遊」でにぎわい波及期待 大型店開業で変化する中心市街地

特集



▲前列左から、藤井輝彰・レイメイ藤井常任顧問、森本孝・熊本第一信用金庫会長、森敬輔・九州産交ホールディングス社長、永里敏秋・KMバイオロジクス社長、木下統晴・化学及血清療法研究所理事長、木下貴夫・西部ガス熊本社長。中列左から中村武史・日本銀行熊本支店長、田中稔彦・金剛社長、中山峰男・崇城大学学長、島田万里・熊本県信用組合理事長、朝倉順治・NTT西日本熊本支店長、松岡泰輔・くまもと経済会長。後列左から櫻木俊孝・地域経済センター社長、吉田順一・SYSKEN常務、関浩・鶴屋百貨店副社長、岩永一宏・岩永組社長、ニュースカイホテル・鯨島茂総支配人、坂井木綿子・くまもと経済事務局。(マスクを外して撮影)



▲間隔を広く取り透明版仕切りの座席で互いの話を聴く参加者

コロナ影響、景気情勢など 意見交換

異業種交流・ついたち会

異業種交流・ついたち会事務局・くまもと経済)は4月1日、熊本市中央区のANAクラウンプラザホテル熊本ニュースカイで定例会を開催。新型コロナウイルスの影響やワクチン開発、県内の景気情勢などについて意見交換や近況報告をした。

同会は熊本県内の地場企業・団体・出先のトップ層をメンバーにした異業種交流会で偶数月一日に実施、休まず継続しており42年目となる。

この日一番到着の岩永組・岩永一宏社長の音頭で乾杯し、恒例の全員スピーチをスタート。主には①景気情勢の近況と今後②新型コロナウイルス影響とワクチン開発③自企業・大学の業績④熊本の人口動向などについて意見を交わした。初参加の岩永社長や九州産交ホールディングスの森社長は自己紹介も語り、KMバイオロジクスの永里社長はワクチンの仕組みや対応状況、NTT西日本熊本支店の朝倉支店長は社屋移転、西部ガス熊本の木下社長は自社の組織変更なども話題にした。

(坂井木綿子)

4月5日 崇城大学

崇城大学体育会館で

入学式を開き、大学
758人、大学院75人の
計833人が入学した。

中山 峰男
学長

中山峰男学長は「時に
社会はものすごいスピ
ードで変革を遂げてい
る。そのイノベーション
を支えているのが皆さ
んのような若き人たち
である。自分がやりた
いことをしっかりと見つ
け、クリエイティブに挑
戦する第一歩を崇城大
学から始めていただき
たい。皆さんが自らを
磨き、大きく成長して
くれることを期待する」
と式辞を述べた。



▲入学生代表として宣誓する薬学部・
薬学科の中村海翔さん



▲大学758人、大学院75人の計833
人が入学した



▶入学式当日の様子はライ
ブ動画配信された

熊本市少年少女発明クラブ

令和3年度開講式と第一回講座



▲約3倍の応募者から抽選で選ばれた受講生。



金森 秀一
県発明協会会長
(オジックテクノロジー社長)



田中 稔彦
副会長
(金剛社長)



中山 峰男
会長
(崇城大学学長)



▲年間予定の説明を聞く参加者



▲代表でバッジを受けるマスターコースの西将宏くん



▲ものづくり創造センター(SUMIC)



▲初回課題の鉛筆削りに取り組む子供たち

熊本市少年少女発明クラブ(中山峰男会長、崇城大学学長)は4月17日、崇城大学内ものづくり創造センターで令和3年度開講式を開催した。

はつめい工夫・ドクターなど3コースに小学4年から中学2年生の合計55人が入講。中山会長は「大人になると何でも分かったようになり成長がない。皆さんのなぜだろうが新しい未来を作ります」と挨拶した。式典後は今日の課題・鉛筆削り開始。初めて削る児童も多く、ボランティア講師と学生サポーターに指導を受けた。これは自分の意志で参加した子供に「ワクワク・チャレンジ・つながり」の追求をテーマに活動の場を提供するクラブで県内に荒尾市と2カ所ある。

崇城大学芸術学部

「公園を楽しく活用」をテーマにデザイン提案

崇城大学（熊本市西区池田4丁目、中山峰男学長）は2月3日から3月7日まで、熊本市中央区上通町の熊本市現代美術館を会場に地域プロジェクト展覧会「みらいデザインKUMAMOTO 5・くまもとの公園」を開催した。

同大学芸術学部デザイン学科の「地域プロジェクト」カリキュラムの一

環として、デザイン学科1年生から3年生138人が16チームに分かれ企画したもの。今回は熊本市現代美術館との連携プロジェクトとして「熊本の公園を楽しく気持ちよく活用するデザイン」をテーマに、公園のマナーを利用者にうまく伝えるデザインや公園の新しい使い方など16のデザインを学生の自由な発想で提案している。

同美術館では、「アートの人をつなぐーアートで都市をデザインする」をテーマに、行政の政策課題解決にアートを関連付け、様々なプロジェクトを団体、企業と連携し毎年実施している。